

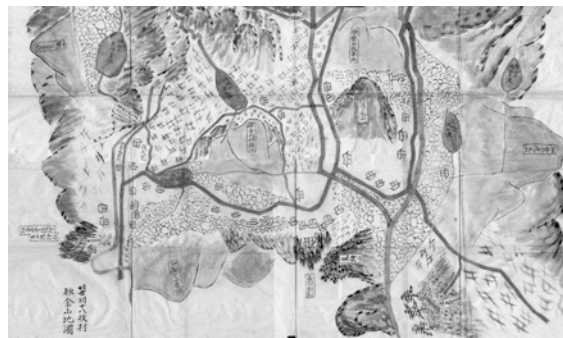
# 世界遺産登録に向けて

## 西三川砂金山(8) — 地役人辻藤左衛門と溜池普請 —

佐渡奉行所の西三川金山役であった辻藤左衛門(1611〜52)は、寛永6(1629)年6月に佐渡奉行として着任した伊丹播磨守が西三川を巡検した際、砂金山に至るまでの道や橋の補修を担当しました。そして奉行に同行し、「砂金稼ぎは水流しが重要であるので、用水を整備しなければできない。このため、峠の頂上に溜池を普請すれば、旱魃の時にも用水に差支えがなくなる。そうすれば、砂金の上納も増すであろう」と、砂金稼ぎの道理を説明しました。

この提案はただちに伊丹奉行に採択され、溜池の普請が行われました。藤左衛門は、普請人足に対しては潔白・公平、しかも憐憫をもちながら接したので、普請は順調に進んだそうです。

この成果が認められ、藤左衛門は、筋金の管理を行う運上屋役となり、慶安2(1649)年6月には相川の町を治める町奉行に昇進しました。しかし、藤左衛門の「政事清廉にして人の賂を受けず、言行相応にして理非分明なり」という性格が仇と



立残山(左下)や虎丸山(右中央)など砂金稼場周辺には、多くの溜池がある。(笹川十八枚村砂金山絵図より)

なり、同僚の侮りに遭うことも多く、上役とも対立し、慶安4(1651)年9月小木番所に左遷されました。そして、ついに佐渡奉行所留守居役と対立した藤左衛門は、相川への引き上げ命令を拒否し、翌年3月蓮華峰寺に立てこもり、自害しました。これが「小比叡騒動」と呼ばれる事件です。

◆市役所世界遺産推進課(金井就業改善センター内) ☎63-5136

## 田中優子法政大学総長シンポジウム

江戸時代の佐渡金銀山に焦点をあて、金銀山の歴史にからめて市民の関心が高い「文化」をテーマにシンポジウムを行います。

**日時** 6月20日(土) 午後7時～9時30分  
**会場** 国指定史跡 北沢浮遊選鉱場跡(相川北沢町)  
 ※雨天時: 相川体育館(相川栄町)

### 内容

#### ○午後7時～8時 基調講演

講師 法政大学総長 田中 優子 氏  
 演題 『内からの目、外からの目』

#### ○午後8時～8時30分 伝統芸能披露 鬼太鼓(春日鬼組)、相川音頭(七浦民謡研究会)

#### ○午後8時30分～9時30分 パネルディスカッション

コーディネーター 田中 優子 氏  
 パネラー 松田 祐樹 氏(佐渡芸能伝承機構)、中野 奈美子 氏(風待ちの会)、  
 佐渡市長 甲斐 元也

**定員** 200人(先着順)

**お申し込み** 5月18日(月)から受け付けを開始します。市役所本庁・各支所・行政サービスセンターに設置する申込チラシにより、市役所世界遺産推進課までお申込みください(電話申込も可)。

**主催** 佐渡市

**共催** 佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会、佐渡を世界遺産にする首都圏の会

**お申し込み・お問い合わせ** 市役所世界遺産推進課 登録推進係 ☎63-5136 FAX63-6130



田中優子氏